

令和7年第3回田原市教育委員会定例会

- 1 開会 令和7年3月25日 午後1時45分
- 2 閉会 令和7年3月25日 午後2時50分
- 3 会議に出席した委員
田中早苗教育長職務代理者、太田孝雄委員、高崎佐智江委員、田中智和委員
- 4 会議に欠席した委員
- 5 会議に出席した職員

教育部長	増田直道
教育総務課長	川口 崇
学校教育課長	峠 尚良
生涯学習課長	山田達也
スポーツ課長	鈴木雅也
文化財課長	天野敏規
図書館長	是住久美子
教育総務課長補佐兼係長	木村真一
- 6 議事日程
別紙のとおり

田原市教育委員会第3回定例会議事日程

日 時 令和7年3月25日(火)

午後1時45分

場 所 市役所北庁舎3階 302会議室

1 会議録署名者の指名

2 教育長報告事項

3 議題

- (1) 議案第4号 田原市立小学校及び中学校の施設開放に関する規則の一部を改正する規則について
- (2) 議案第5号 田原市文化財保護審議会委員の任命について

4 報告事項

- (1) 教育委員連絡報告事項
- (2) 田原市議会第1回定例会一般質問について
- (3) 小中学校、給食センター及び図書館への寄附について

5 その他

教育長

開 会 午後 1 時45分

失礼いたします。

本日は、何かとご多用のところ、ご出席いただきまして、誠にありがとうございます。

なお、本日は午前中から教育委員会表彰からの引き続きの定例会となっておりますので、またよろしく申し上げます。

ただいまの出席者数は5名であります。

定足数に達しておりますので、令和7年田原市教育委員会第3回定例会は成立をいたしました。

これより開会いたします。

教育長

それでは、会議規則第13条第2項の規定により、会議録署名者の指名をさせていただきます。

今回の署名者として、太田委員と高崎委員のご兩名を指名させていただきますので、よろしく申し上げます。

教育長

それでは、議題に先立ち教育長報告を、私からさせていただきます。

2ページと3ページにわたる資料となりますので、よろしく申し上げます。

前回の2月21日の後、まず2月26日に、教育長の表敬訪問がありまして、田原中学のボランティアグループのたはランティア・うにうに隊が、自分のところに来てくれました。

脱炭素チャレンジカップ2025という大会で、奨励賞を受けたこれがその理由です。非常に独創的な考え方で、うにをどうやって育てるかだとか、うにの活用法はだとか、非常に総合的な学習を突き詰めたような、いい活動をしていたので、今後、楽しみに見守りたいと思います。

それから、3月1日に宮沢賢治の記念碑のお披露目会があつて、これについては、是住図書館長のほうから、また紹介がありますので割愛をいたします。

それから、3月2日に春のウォーキング in 福江校区ということで、渥美文化会館をスタート、ゴールにして、約8キロを歩かせていただきました。残念ながら、免々田川沿いの河津桜は、このときはあまり咲いていなかったのですけれども、それでも菜の花は満開状態になったし、こいのぼりも元気に動いていたということで、参加者は大変満足をして帰っていきました。

これはまた、来年度は田原のほうにまたやってきて行われるということですので、楽しみにしたいと思います。

それから、3月7日は中学校の卒業式があつて、これは4校ですので、教育委員の皆さんが出席していただき、告示を読んでもうございました。ありがとうございます。

それから、3月9日に第1回赤羽根ロングビーチラン2025が行われました。これは、砂浜を走ろうという、第1回目ということでなかなかチャレンジな企画だったのですが、この日の前日まで雨が降っていましたが、ここだけはしっかり晴れた。しかも、赤羽根には珍しく、風もなかったという最高の条件が整いまして、非常に多くの方がこれを楽しみにしておりました。

ティーズもずっと最初から最後までおりましたので、テレビでも流れたかと思えます。

事務局は、来年度もやる気満々でこれに取り組んでおるといふことですので、また来年も楽しみにしたいかなと思えます。

それから、3月14日は田原市の教職員の人事異動内示が行われまして、それぞれ学校の校長を市役所に呼んで学校教育課長のほうから注意事項も含めて内示をさせていただきました。

今のところ、大きな意見等は自分に届いていないので、まずは認証されたのかなと思っております。

それから、裏面にいっていただいて、3月19日ですけれども、小学校の卒業式で福江小学校に行つてまいりました。

自分は中学の校長しか知らなかったもので、小学校の卒業式はもちろん見たことはあるのですけれども、3年ぶりに見てやはり涙が出そうになりました。

特に自分が最後に行つた田原中学校は、大人数で声もはっきり言えば体育館に響くぐらいの声が出るのですけれども、やはり小学校は1年生から6年生がいて、中学とは、はるかに違う階層の子どもたちがいて1年生までが、よく練習した、頑張ったねという、思わずそういうような言葉をかけたくなるような、けなげさでやっておられるところを見て、1年生から6年生をお祝いするんだという気持ちを育てるといふのは改めて大事だと思つたし、それを取り巻く地域の方の視線も非常に温かくて、温かい拍手をもらつていた小学校の卒業式っていいものだなと。また来年、どこかに自分も行けるといいなと思っております。

それから、最後になるのですけれども、本日、田原市の教育委員会の表彰式があつて、非常にたくさんの皆様を表彰させていただきました。

事務局の教育総務課は、非常に大変だったかなと思つてのですが、たくさんの皆様を表彰できるというの、田原市にとっては非常にありがたいことだなと。また、来年もっと数が増えたら大変かなと反面思

いつつも、やはりどんどん増えていって、田原市がより元気になっていくようなことを考えたいなと思いますので、またご協力をよろしくお願い致します。

以上で自分の報告は終わらせていただきます。

自分の報告について、何かご質問等あったら、よろしくお願い致します。よろしいですかね。はい。

ご質問もないようですので、教育長報告事項を終わります。

教育長

それでは、これから議題に入ります。

初めに、議案第4号 田原市立小学校及び中学校の施設開放に関する規則の一部を改正する規則についてを議題といたします。

事務局の説明をよろしくお願い致します。

スポーツ課長

スポーツ課です。よろしくお願いいたします。

4ページになります。議案第4号 田原市立小学校及び中学校の施設開放に関する規則の一部を改正する規則についてということで、田原市立小学校及び中学校の施設開放に関する規則の一部を改正する規則を別紙のとおり定めるものとする。令和7年3月25日提出、田原市教育委員会、教育長名でございます。

4ページの下にあります提案理由といたしまして、学校施設開放利用時の傷害保険の加入につきまして、規則で定める「スポーツ安全協会傷害保険」に限らず、保険制度が充実し、いろいろなものが存在するため、規則から削除するものです。

また、童浦小学校になりますが、令和7年4月から屋内運動場空調設備使用料の徴収を開始することに伴い、所要の様式の改正をします。

次の5ページになりますが、こちらの規則の一部を改正するものとしまして、田原市立小学校及び中学校の施設開放に関する規則、昭和53年田原町教育委員会規則第2号の一部を次のように改正いたします。

第17条を削り、第18条を第17条とし、第19条を第18条とする。

様式4号及び様式5号を次のように改めるといって、次の6ページから改正された様式が付いております。

また、8ページになりますが、この規則は、令和7年4月1日から施行することになります。

附則の2番目といたしまして、この規則の施行の際、現に改正前の田原市立小学校及び中学校の施設開放に関する規則の規定に基づき作成されている様式用の用紙は、改正後の田原市立小学校及び中学校の施設開放に関する規則の規定にかかわらず、当分の間、所要の事項を適宜補正して使用することができるという形で、既存のものを使う形に

教育長

なっております。

9ページにつきましては、新旧対照表を付けさせてもらっていますので、よろしくお願いたします。

以上になります。

それでは、議案第4号について、事務局の説明が終わりましたが、ご質問等ございますか。よろしいですか。

では、ご質問等もないようですので、お諮りをいたします。

議案第4号 田原市立小学校及び中学校の施設開放に関する規則の一部を改正する規則については、原案どおり可決することにご異議ございませんか。

委員

(異議なし)

ありがとうございます。

では、ご異議ないようですので、議案第4号につきましては、原案どおり可決いたしました。

では、次に議案第5号 田原市文化財保護審議会委員の任命についてを議題といたします。

文化財課長

事務局の説明をお願いいたします。

はい。文化財課です。よろしくお願いいたします。

10ページを御覧ください。議案第5号 田原市文化財保護審議会委員の任命について、田原市文化財保護審議会委員を別紙のとおり任命するものとする。本日付の提出で教育長名でございます。

下のほうに提案理由が書かれております。田原市文化財保護審議会委員3名が任期満了となるため、新たに審議会委員の任命をするものでございます。

次のページを御覧ください。新たに3人の方を任命するのですが、全て再任になります。

加藤克己さん、仁崎町にお住まいの昭和25年生まれで、専門分野は歴史の中世になります。

石井志津子さん、福江町にお住まいで、昭和27年生まれ、専門分野は歴史の近世になります。

最後は、八木将勝さん、浦町にお住まいで、昭和39年の、分野が自然、植物になります。

任期につきましては、令和7年4月1日から令和9年3月31日までとなります。

よろしくお願いいたします。以上です。

教育長

はい。ありがとうございました。

事務局の説明が終わりましたが、何かご質問等ございますか。よろしいですかね。

ご質問等もないようですので、お諮りをいたします。

議案第5号 田原市文化財保護審議会委員の任命については、原案どおり可決することにご異議ございませんか。

委員

(異議なし)

ありがとうございます。

では、ご異議ないようですので、議案第5号につきましては、原案どおり可決いたしました。

教育長

続いて、報告事項に入りたいと思います。

では、教育委員会の皆さま方からの連絡、報告事項等を順次お願いをいたします。

まず、田中早苗委員からよろしくお願ひいたします。

田中早苗委員

お願いします。

私からは2件、報告いたします。

3月7日に福江中学校の卒業式に参列しました。卒業生は106名、式前に控室で、PTA会長さんのお話を聞いたんですけども、福江中学校ではPTA会長の祝辞はコロナ禍よりないというか、壇上で面と向かってはお話せず、PTA新聞に掲載されるという形をとっております。それが、各会長さんにどちらがいいかは聞かれるそうなのですが、ここ数年の会長さんは掲載されるほうを選ばれるようで、そういった話をCブロックで集まったときにお話すると、羨ましいと思われるそうなので、福江中学校にはとても合っているようです。

校長先生の祝辞は、漫画のキャラクターのセリフを引用して、自分ではできないことは自分でやり、できないことは他人に頼る、という誰しも一人では生きてはいけない、周りの人に頼ったり、支え合うことの大切さを説いてくださいました。

19日に中山小学校の卒業式に参列しました。こちらも、PTA会長さんとお話をして、現在の児童数は140数名なのですが、会長さんの在学中は400名程度いたそうです。

少子化は全国的な問題ですが、3分の1になったということは、とても深刻だなということで、児童数が減るということはPTA会員も減るということで、役員さんが負担にならないように改革しようと動いているそうです。

校長先生の祝辞は、人を喜ばせる人になってほしいということで、生きているだけで周りの人は幸せだよという命の大切さを伝えていました。

どちらの卒業式も、来賓の方がいい式でしたねと笑顔で会話をして解散するような、とてもいい式でした。

少し言おうか迷うのですが、中山小学校の最後の合唱で、伴奏の子が少し詰まってしまったところがあるんですけども、後ろに控えていた音楽の先生がさっとフォローをして、先生が変わるのではなく導

教育長

太田孝雄委員

く形で、とてもいい教育の形だなと思いましたし、教育長も大変褒めておりましたので、そういった指導の形がとてもいいなと思います。

以上です。

はい。ありがとうございました。

それでは、太田委員よろしく申し上げます。

はい、お願いします。

私も、小中学校の卒業証書授与式に出席させていただきました。

アフターコロナで、以前の卒業式の形に戻ったと思いますが、一番変わったのは、来賓の数をやはりどこも減らしているなということを感じました。

来賓の中には、卒業証書授与式に出たいという声もありましたけれども、特に市議会議員さんですが、中学校のほうは出るけれども、小学校のほうからは案内状がないと、少し寂しがつているご意見もありました。今、コミュニティ・スクールであったり、地域とのつながりが密になりつつ向かっていますので、なるべく地域の方々の負担にならない程度にお呼びしたほうがいいのではないかと個人的には思いました。

赤羽根中学校の卒業式は、それほど大きく今までと形は変わっていませんが、65名と少し卒業生の数が増えましたけれども、式全体としては大きな変化はなくて、淡々と過ぎていったという感じです。

校長先生の式辞は、今年は研究発表の取組がありまして、行事や集会、生徒会活動では特に3年生がリーダーとして活躍したことを通して、生徒たちの成長を称賛するという部分が多かったように思います。

卒業式自体、特に教育だと不易と流行というのが言われるのですが、一時期、小学校はかなり卒業式の形を変えていった部分もあるのですが、赤羽根中学校の卒業式に出て、10数年そう大きく変わっていないなと感じました。

やはり、厳粛な式というのは、それほど大きく変わらないなと。変わるのとは歌う歌ぐらいで、中身はそんなに大きくは変わってはおりましたが、卒業生一人一人はそれぞれの3年間の思い出、成長ごとに巣立っていったと思います。

それから、田原南部小学校は、3月19日に30名の卒業生でした。先ほど、教育長さんは、福江小学校1年生から6年生と言われましたが、南部も以前に比べて児童数が増えたものですから、在校生は四、五年生でお見送りするということで、低学年の1年生からについては、その前に6年生を送る会を通して、6年生への皆さんへのお礼だとか、お祝いというのは、事前に済ませている形をとっておりました。

田原南部小学校の校長先生も、4年間、今の6年生と一緒に過ごし

てきたものですから、本当に細かく児童たちの成長をつぶさに思い出として述べておられました。

特に5年生の野外活動以降、大きく成長したというようなことをみえたのは、もう本当に近くにいてどもたちの成長をよく見てきたなどということを感じました。

小学校は、呼びかけによるお別れの言葉がよいと思いますが、特に田原南部小学校ですばらしいなど思ったのは、卒業生の呼びかけの言葉が、一人一人のせりふが大変長くて、それぞれの言葉が本当に真剣に考えた思いのこもった伸びかけのように思いました。

呼びかけって、元気な声で声を出して決まったせりふをしゃべるような部分もあるんですけども、なんかすごく思いが込められているなど感じました。

それから、田原南部小学校は、田原中学校に卒業後行くということで、田原中学はブレザーの制服で卒業式に臨んでいたのですが、式の前に校長先生とお話したときに、今はジェンダーフリーということで、女子もスラックスを多くの子が注文していますということを言われたものですから、どのぐらいの子が卒業式に出てくるのかなと思ったら、2名の子がスラックスでありました。

小学校から中学校へ行って、どういうふうになるか分かりませんが、そういう子も堂々とスラックスで出て、肩身の狭い思いをせずに生活できるような中学校生活になっていたらなということをおもっております。

以上です。

教育長

はい。ありがとうございました。

それでは、高崎委員よろしく申し上げます。

高崎佐智江委員

はい。私も皆さんと同様、田原中学の卒業式、童浦小学校の卒業式に参加させていただきました。

また、昨日、子育て支援委員会に出席をさせていただきました。

田原中学の卒業式から申し上げます。田原中学の卒業式の際に、校長室で地域の皆様方とお話をさせていただき、情報交換をさせていただいていたのですが、校長先生が式の始まる前に、今年は15分ほど短縮させていただきますというお話がございました。

そして、中に入って気がついたんですけども、PTA会長さんのお話が今年からありませんでした。並びに、童浦小学校も同じく、PTA会長さんのお話がありませんでした。

これは賛否両論あると思うのですが、例えば田原中学の卒業式ですと、最後に人気歌手のすばらしい曲を流してくださったり、時代に合わせて、親御さんにも合わせて、生徒さんにも合わせて変わっていかれているなどということを感じさせていただきました。

そして、童浦小学校では、フジコ・ヘミングさんをメインに出し

て、60過ぎてから世界で有名になっていかれたということで、挑戦することの大切さを校長先生がおっしゃっていたのですが、本当にこれは私も賛否両論あると思っているのですけれども、PTAとの学校との関係もあると思います。ただ、先ほど太田先生もおっしゃっていた不易流行という言葉がすごく好きで、自分でも書くぐらいなのですが、義務教育を終えると、この学校でお世話になったという気持ちを親御さんがたった一言でもいいからお子さんたちの前で伝えてくださる大切さってどういうことなのかなということを考えさせていただきました。

もちろん学校運営に関わることもございますので、一概にこれがいいという答えはないと思いますけれども、お世話になったありがたいとか、感謝とか、そういった気持ちがある意味育てていくことが、これから大事なのではないかなと思われました。

また、童浦小学校では、校長室ですごくおいしいお茶を出していただき、童浦で栽培をされているお茶葉が本当おいしくて、本当に甘味があっおいしいんですね。これって童浦の誇れるすごいことだなと思いました。

それと、私も海外の卒業式を見させていただいて特に思うのですけれども、校長先生が黒いお着物に袴をお召しになっているんですね。私、この文化というものをすごく考えまして、礼を尽くされていらっしゃるというのを身をもって表していらっしゃるというか、もちろんお話を伺ってもそうなのですけれども、礼を尽くす大切さ、ありがたいってすごく大事なんだと、私自身が感動をさせていただきました。

あと、子育て支援委員会に関しまして、木村子ども健康部長さんをご退職されるということで、すごく尽力されていらっしゃるって、そして、いろいろな立場の方が、いろいろな意見からご意見をおっしゃっていて、山田生涯学習課長さんがいらしゃったので、こちらとしては心強かったのですけれども、会の進行上、少し意見も伝えることも大切かなと思ったものですから、少しお話をさせていただきました。

本当に田原市の地域と学校と、子どもを育てることってそれだけではなくて、コミュニティ、それから経済界、全てが一致団結して運営していくということが、特に少子化に関してここがテーマなものですから、これから大事になっていくのではないのかなと思います。

今日、教育長が新任の先生にもおっしゃっていましたが、田原市って本当に私もいつも言うのですけれども、お花が一番だったり、農業が全国トップクラスだったり、そして例えば、今日の教育委員会表彰式もそうですけれども、世界のトヨタの駆伝部もあります。

なので、もっともっと将来が明るくなっていいのではないかなということもすごく思っています。将来の財産であるお子さんが活発に前

向きに育っていつていただけるといいのではないかなと思いました。

昨日の会議で一つだけお伝えしたのは、大分いろいろなことが便利になってきているので、外に出て行ってみんな帰ってこないんだよではなくて、ここをすごく魅力ある町にして、そして帰ってこなくても二拠点生活をしていただけるようなシステムができてきたら、次世代のお子さんたちに随分変わっていくのではないかなと思いました。

いずれにしても卒業式を通して、いかに先生方がお子さんたちを大切に思い、巣立っていく方への愛情、そして、PTAの方への細部にわたるお心遣い、PTAの方たちもその中でお子さんが巣立っていくということを、やはり我が子かわいいのでいろいろ思っている方もたくさんいらっしゃると思いますが、ご理解いただくと、これからすごくよくなっていくのではないかなということを思いました。

以上です。

教育長

はい。ありがとうございました。

では、田中智和委員よろしくお願ひします。

田中智和委員

はい。私からも、3点、失礼します。

3月2日に、子ども向け運動教室に小学校1年の長男と午後の部で参加させていただきました。

息子も大分楽しかったらしくて、帰ってからもまた行きたいと3日間くらいは言っていました。

その日に教育長も見えたのですが、最後まで子どもたちとパワフルに遊んでいるのを見てすごいなと尊敬しました。

3月7日、東部中学校卒業式に参加させていただきました。初めて教育委員という立場で告示をさせていただいて、私を知る保護者の方からは、いつ面白いことを言うんだと最後まで思ったけれど言わないのではないかと、後から言われましたけれども、それはPTA会長さんに任せましたと言って、PTA会長さんも知っている方だったので、すごい雰囲気の中で卒業式を送りました。

ちょうどたまたま地域の役などで3年連続で卒業式に参加させてもらったのですが、答辞の3年生の子が、決して内容が別にそんなにいいわけではないのですが、泣きながら話しながらの本当に感情がこもった答辞で、卒業生たちも結構もらい泣きして、すごく心に残る卒業式になりました。

3月19日に野田小学校の卒業式に参列させていただきました。野田小学校は1年生から6年生までということで、1年生の子が、1年生だけど、本当によくここまでじっと座って、自分の番になったらしゃべってというのが、すごいなと思いました。

卒業式の見送りまでの時間の空いた時間に、卒業生用に作られたDVDを保護者の皆さんと部屋に行ってみせてもらったのですけれど

も、やはり人数が少ないのでまとまりがある卒業式になったんだなと思って見ていました。

見送りまでさせてもらったのですけれども、低学年の子まで出て、本当に温かい卒業式になりました。

私からは以上です。

教育長

はい。ありがとうございました。

教育委員の皆様には、またこれからも情報収集をよろしくお願いいたします。

それでは次に、報告事項の（２）田原市議会第1回定例会一般質問について、事務局から報告をお願いします。

教育部長

それでは、私のほうから報告をさせていただきます。

報告事項、田原市議会第1回定例会一般質問についてでございますが、この議会に提出された議案についても、一般質問に併せまして報告させていただきます。

説明ですけれども、12ページ以降の令和7年田原市議会第1回定例会提出議案と、一般質問一覧表、それと令和7年第1回定例会、山上勝由議員、一般質問から始まる一般質問の要旨、この3つで説明させていただきます。

まず、12ページ、令和7年田原市議会第1回定例会提出議案等を御覧ください。

この資料ですけれども、第1回定例会に審議されている議案一覧となっております。こちらは、3ページあるのですけれども、この見開きと、16ページを御覧いただければと思います。目を通してご覧ください。

定例会初日では、一覧表にある議案等の提案説明と報告が行われました。次のページの17ページを御覧ください。17ページの最後のところなのですけれども、一覧表がありまして、議案数が32件、人事案件が24件で、条例の改正等が22件、単行議案が10件、予算議案が7件ということで上程されました。

また、最終日に田原議事会の個人情報保護に関する条例の一部を改正する条例が、議発ということで議会から出されまして、こうした追加議案も含めまして、いずれもご審議をいただきました。

この資料のうち、16ページへお戻りください。16ページの赤枠で囲ってあるものが、教育委員会に関係するものでございまして、教育委員会からは、議案第36号及び第38号の予算関係の関連の議案が2件ございました。

この両議案とも、前回の教育委員会定例会において議題として審議をしておりますので、説明を省略させていただきます。

次に、一般質問について、18ページを御覧ください。

3月4日及び5日の両日に行われまして、市長の代表質問は、市長

の所信表明がありまして、これを受けて2つの会派からされております。

個人質問については、19ページ及び20ページを開いていきますと、10人の議員さんからの通告という形で行われました。

教育委員会といたしましては、一覧表の19ページの3番の山上議員、それから20ページ、5番の中野哲伸議員、9番の小川金一議員、10番の岡本重明議員から質問いただきました。

この内側のもう1枚を見ていただくと、通告のあった議員の質問は赤枠で囲われておりまして、その中で、赤枠の中に黄色のアンダーラインのあるものについては、アンダーラインのみの説明となりますので、よろしく願いいたします。

それでは、一般質問の内容について関係するご質問ですが、54ページへ飛びますが、お願いします。よろしいでしょうか。

54ページが山上議員の質問ですが、大項目として、子育て世代の定住・移住施策、小項目のひとつとして、子育て・教育施策についてということでした。2番、3番は省略させていただきます。

まず、初回の質問要旨として、これは一問一答方式です。

子育て世代の方が本市への定住、移住を決断する上で、その定住、移住につながる子育てや教育に関する取組についてどうなのかということで、要旨といたしましては、答弁要旨、以下ですけれども、初めの答弁としては、子育てしやすい環境づくりが、定住、移住につながっていくと考えまして、子育て支援に対しての充実に取り組んでいるということです。

その次の黒丸ですけれども、独自の取組としては、妊産婦のタクシー料金助成といった子育て支援。それから少し飛びますが、育児と就労の両面から子育て家庭を支えるサービスの充実に取り組んでいるということをおっしゃいました。

保育料、給食費の無償化、18歳までの医療費の無償化など、経済的負担の軽減にも取り組んでいるということです。

次に、こちらの答弁としては、子ども健康部長が答えています。教育部分については、4つ目の黒丸の、教育に関しては学校施設の空調設備を始め、教育環境の充実を図っているということで、入学応援金の支給、それから高校生のバス通学費の支援といった本市独自の支援を行っている。

その次の黒丸が、教育によりふるさとへの誇りと愛着を醸成することも定住、移住に必要と考え、「ふるさと教育」を推進しまして、田原市の魅力を学ぶ機会を提供する様々な取組を行っているということです。

最後に、地域の特徴を生かした教育、本市独自の支援制度の取組

が、結果として子育て世帯に対する本市の魅力の向上に結びつくということで、定住、移住につながっているということを説明しました。

2回目は、一問一答で、これらの取組がどんな効果があったのかということで、就学前のお子さんをお持ちの保護者とした子育て環境の支援に対するアンケートの評価につきましては、このアンケートの調査、6年前の調査と比較すると、満足度が2倍になっているということ。

次に、教育の関係なのですけれども、ふるさと教育の取組で、ふるさと教育については、小学校、中学校の義務教育に限らず、生涯にわたって取り組んでいると理解しておるけれども、この効果がどうなのかということですが。答えとして、総合計画策定で行ったウェブアンケートで、約半数の方から、「ずっと、今住んでいる地域で暮らしていきたい」とか、「今の地域を離れても、いずれ戻ってきたい」などの意向を示されているということで、こうした「ふるさと教育」の各世代の継続した取組が、長期的な視点で定住率の効果があると考えていると言われました。

以上、こちらまでが山上議員の質問です。

次が、中野議員です。今回これが多分教育委員会だと一番大きなテーマということで、先に前振りとして、各教育委員会全体として各課長に考えていただいた上で、教育長さんにも意見を聞きながらまとめてみました。これは那一括答弁方式で行われました。

大項目といたしましては、小中学校の今後の在り方についてということで、小項目のひとつとして、小中学校の今後の学校配置、それから2番目として、教員の今後の働き方改革という形で、非常に大きなテーマをいただきました。

まず、質問要旨として、学校配置についての質問です。答弁要旨と、学校配置の考え方はどうなのかということです。答弁要旨として、初めの答弁としては、本市におけるこうした配置については、平成26年度に学校全体配置計画、令和元年度に学校全体配置計画を検証した学校未来創造計画を策定し、小中学校の統合、再編を行って、現在の小学校18校、中学校4校となっていると。

3行飛ばしまして、一層進むことが想定される本市の少子化の状況を注視し備えておくことが必要であり、中長期的視点に立って、改めて方向性を検討する時期にきているものと認識しています。

もうひとつは、小中学校の学校配置の在り方の方向を示す計画の策定をするにあたっては、子どもの教育にとっては何が一番大切かという視点が特に重要である。今後の本市の少子化の進行の状況や、小規模校における教育の在り方、学校が地域に果たす役割等について、保護者、地域コミュニティ協議会への情報提供や意見交換を行っていく。今後のこうした学校配置の在り方につきましては、早急に統合・

再編案を示し進めるのではなく、慎重に検討をしていく必要があると答えております。

これに関して、2回目の質疑に関しては、少子化が一層進んでいくことが触れられていたけれども、これに備えておく必要をという答弁もあつたけれども、今度、計画策定に入っていくことになると思いますが、スケジュールとか、保護者や地域への情報提供している内容や意見交換ついてどうなのかというご質問をいただきました。

これに対しましては、策定スケジュールにつきましては、令和7年度早々から情報提供や意見交換を開始できるよう準備を進め、7年度末を目処に計画の基本的な方向性を整理してまいります。

保護者や地域への情報提供や意見交換については、市全体や地域ごとの少子化の将来数値や、国の示す学校規模の標準的な基準、小規模学校の学校面の具体的な例示等の情報を示すとともに、地域において小中学校の果たす役割等についての意見交換を行い、小中学校の外交、議論を深めていきたいという形で終えております。

次に、2番目の教員の今後の働き方改革ですけれども、これにつきまして、質問としては、昨年9月に働き方のロードマップが県教育委員から示されましたが、本市の教員の今後の働き方改革についての現状と今後について聞くということです。

答弁要旨といたしましては、本市では、勤務時間以外に行う時間外在校時間につき月45時間以内に抑えることを目標に取り組んできており、こうしたことが、校務支援システムの導入によって取り組んできているという形を説明しました。

2回目以降の質疑、答弁としては、各学校の取組によって、働き方が進んで、こういった時間外は減少しているのだけれども、働き方改革の推進については、教育委員会が学校を積極的に支援していくべきはないかということで、具体的な取組をということですが、答えとしては、意識改革等、職場環境の整備、部活動の改革、業務改善の推進、外部人材の活用の5点を考えているということで、それぞれ答えております。

意識改革につきましては、こうした時間外在校等時間の調査結果をフィードバックしたり、こういった取組の成果や課題の共有を行い、先生方の問題意識をさらに高めていくと。

職場環境の整備については、ストレスチェック及び面接指導体制の整備を行っていく。

部活動改革については、地域活動団体コーディネーター活用等によって、ガイドラインに沿った活動を支援し、中学校の休日の部活動の地域移行を進めていくということです。

業務改革の推進については、調査等の精選、校務支援システムのさらなる活用の推進、会議や研修の効率化、教材等のデータベース化を

進めると。

外部人材の活用については、学習指導員等の充実に取り組んでいくということで答えております。

また、最後に、小学校と中学校、学校の規模や校区により取組も異なりますので、学校の実状に応じた取組を学校と共に検討し、実施していくことになると考えているということで、答弁を終えております。

次が、58ページの小川議員からです。

これは、非核・平和都市宣言の田原市の施策と取組ということで、その中で4つありまして、学校については、学校や教育機関における平和教育の取組状況について聞きたいということでした。

質問要旨といたしまして、初回については、小学校の一部で、空襲体験を語り継ぐ団体の前日の会という会がありまして、こちら授業や講演を行っているのだけれども、学校や教育機関の取組状況はどうなのかということでした。

答弁要旨としては、市内の小中学校につきましては、社会科、国語科、道徳科の授業、総合的な学習の時間等で取り組んでいるということで、小学校では、総合的な学習の時間における遺跡等の調べ学習、社会科での学習ですとか、国語科の戦争を題材とした教材、道徳科の戦争を扱った教材や人権、国際理解、共生に関わる教材を通しての平和教育があると。

授業では、YouTubeで配信されている動画の視聴ですとか、戦争体験者を招いてのインタビュー、それから青い目の人形や紙芝居、こうしたものを活用して、地域の戦争遺跡や慰霊碑、そして護国神社等の調べ学習が行われていると。

中学校では、社会科の歴史や公民だけでなく、国語科で戦争を扱った教材、道徳科では世界平和や人権、国際理解を扱った教材を活用して、平和教育に取り組んでいると。

また、英語科では、アメリカの大統領が来日した際の平和公園でのスピーチを聞いたり、家庭科では、飢餓の原因の一つとして戦争があることに触れたりして、現在の平和の大切さ等について考える授業も行っているということです。

博物館、図書館においても、リーフレットの作成や絵本の読み聞かせなどをし、取り組んでいるということです。

2回目の質問としては、団体の前日の会さんが一部の学校に出前授業を行っているのだけれども、こうした活動を広げていくことについての意見を聞くということで、こちらにつきましては直接話を聞くことは有効であり、校長会議や教頭会議等を通じて周知をしていきたいと。

そして、前日の会については、自前で案内チラシを作っているのだ

けれども、これへの活動の支援はということで、こうした前日の会に限らず、団体の皆さんと話ながら、平和教育の推進に有効な情報等を各学校に周知するなど、教育をしていきたいということを答えています。

最後に、岡本重明議員です。

これは、「住み続けたいまちづくり」について、妊娠、出産、子育て、教育環境の充実ということで、ご質問いただきました。

最初の質問要旨としては、こういった教育環境の充実、特にふるさと教育において、現時点での課題をどう捉えていて、この進めた施策が、「住み続けたいまちづくり」にどのように作用するかの考えを伺うということで、抽象的な質問だったのですけれども、ふるさと教育でしたので、ふるさと教育では、市内の全小中学校で総合的な学習の時間や、生活科の授業を中心に、特色のある取組をされている。

現時点での課題としては、校外学習の移動手段や学習を充実させていくための講師の確保があると。この施策の実施が、「住み続けたいまちづくり」にどのように作用するかについては、地域の人や、もの、ことと触れ合って、その魅力を知るとともに、ふるさとへの誇り、愛着の醸成、地域社会に生きる意欲の喚起等がなされることで作用するのではないかと考えているということです。

2回目については、現時点の課題として、「学習を充実させていくための講師の確保」が挙がっていたけれども、この課題は、人との交流、高齢者との交流でなんとかなるのではないかとということで、地域の高齢者との交流についての取組はどうかという少し切り口は変えて質問いただきました。

これにつきましては、地域の高齢者を講師として招いて、竹を使ったおもちゃ作り等を行っている学校があり、こういったシニアの皆さんの生きがいづくりのひとつではないかと考えておるものだから、今後、関係部署と連携して地域の高齢者との交流を深めるために、各学校で取組を支援していくということで答えております。

長くて申し訳ありませんけれど、全体としてこういった非常に大きなテーマをいただいたというのが、今回の一般質問の状況であったと思いますので、報告をさせていただきます。

以上です。

教育長

はい。ありがとうございました。

それでは、市議会第1回定例会の一般質問について、事務局から報告がありましたが、これについて何かお聞きしたい質問等ありましたら、お願いいたします。

田中早苗委員

はい、どうぞ。田中早苗委員。

すみません。前日の会という団体さんは、各小学校に1回以上行っているということですか。

教育部長
田中早苗委員

そうではないです。一部の学校になります。
一部というのは、例えば旧田原町であったりとか、偏りはありますか。

教育部長
学校教育課長
田中早苗委員
教育部長
学校教育課長

旧田原町ですよね。
旧田原町で希望した学校です。
すみません。清田校区であまり聞いたことがないなと思ひまして。
元々、事件が起きたのは豊島ですよね。
旧田原町の豊島で起きた渥美線の銃撃事件なので、旧渥美町のほうの学校は、中山の戦争遺跡で博物館から講師を招いて話を聞いたりとか、その地域に合わせて学習しておいりますので。

田中早苗委員
教育長

はい。ありがとうございます。
はい。よろしかったでしょうか。
そのほか、どうでしょう。よろしいですかね。
ご質問もないようですので、次に（3）小中学校給食センター及び図書館への寄附について、事務局から報告をお願いいたします。

教育総務課長

それでは、資料の60ページを御覧ください。
令和6年度教育関係寄附一覧という資料でございます。寄附について、1番から15番までは既に報告済みでございますので、今日は16番から19番について報告申し上げます。

教育総務課分ですが、16番は、令和7年2月27日に、愛知みなみ農業協同組合、代表理事組合長、鈴木照彦様から、給食センターへ学校給食の充実のためにということで、キャベツ16ケースをいただいております。これは、JAさんの品評会のほうの出品されたものを活用してくださいということで、給食センターにいただいたものになります。

こちらのキャベツにつきましては、27日にいただきまして、28日の給食献立のゴマあえの食材として活用をさせていただきました。

続いて、18番を御覧ください。18番は、令和7年3月7日にフタムラ化学株式会社様、代表取締役、社長、長江泰雄様から、「まち・ひと・しごと創生寄附活用事業」を応援するためとして、500万円のご寄附をいただいております。

こちらにつきましては、本年度実施の中学校屋内運動場空調設備設置工事の設計業務に充てさせていただきます。

フタムラ化学様からのご寄附につきましては、同時に教育総務課への寄附としてと、農政課のほうへのご寄附も合わせていただいております。こちらを合わせて市長から感謝状の贈呈ということで取り行うこととなっておりますので、ご報告させていただきます。

19番は、令和7年3月19日に夏目理雄様から田原中部小学校へ、田原中部小学校の図書費として10万円のご寄附をいただいております。

以上を教育総務課分の報告とさせていただきます。

図書館長

続きまして、図書館の寄附の報告をさせていただきます。

同じページ、60ページの17番を御覧ください。3月1日に匿名希望の方ということなのですけれども、今回、定例会にお名前が上がっておりますが、豊川市にお住まい方なのですけれども、宮沢賢治の記念碑をご寄附いただきました。読書啓発のためということで、61万円相当のものです。

次のページの61ページを御覧ください。ちょうど田原文化会館と図書館の敷地のところなのですけれども、バスのロータリーがある近くの図書館の外壁にこのようなステンレス製の記念碑をいただきました。

この方が、宮沢賢治のとてもファンというか、好きな方で、2つ歌が載っているのですけれども、右側にある歌が、宮沢賢治が二十歳のときに鳥羽から蒲郡に船で帰るときに渥美半島を見て詠んだ歌ということで、それを記念して設置させていただきました。また、お立ち寄りの際に御覧いただければと思います。

以上です。

教育長

はい。ありがとうございます。

それでは、事務局の説明が終わりましたけれども、何かご質問等がございますか。よろしいですかね。はい。

ご質問もないようですので、以上で報告事項を終わります。

教育長

次にその他ですが、事務局から何かございますか。

はい。教育総務課長。

教育総務課長

教育総務課でございます。

62ページを御覧ください。教育委員出席日程（案）についてということで、付けさせていただいております。

本日、3月25日以降のスケジュールを付けさせていただいておりますが、この次が3月31日と4月1日のスケジュールになります。

3月31日と4月1日のスケジュールのは、次のページ、63ページに付けさせていただいております。こちらが3月31日と4月1日の日程になります。

3月31日につきましては、10時から教育委員会の臨時会ということで、南庁舎6階の600会議室で、教育長、教育委員さんはじめ、教育委員会の主幹以上の職員が出席して取り行いたいと思います。

その後、11時から教職員退職者辞令交付式を、本日、表彰式を行う6階講堂で執り行いたいと思いますので、ご出席をお願いいたします。

4月1日は、10時15分から教育委員・教育委員会事務局管理職顔合わせ会として、南庁舎の600会議室で10時15分から行います。

その後、隣の会場の6階講堂で、10時30分から教育委員会事務局職

員辞令伝達式、その後引き続き、11時から教職員発令通知式。こちらの11時からのもは、新任と転任の校長先生、教頭先生の発令通知式になります。11時20分から、こちらは教職員の発令通知式として、一般教職員の発令通知式になります。こちらは、いずれも南庁舎の6階講堂で取り行う予定でございます。

4月1日は、11時20分からまだありますので、お昼ぐらいまでかかる見込みでございますが、大変恐縮でございますが、ご予約のほうをお願いしたいと思います。

それでは、62ページへお戻りいただきまして、62ページのほうは、その後、4月4日でございますが、教育委員代表者会議が15時30分から東三河県庁で開催されますので、教育長、職務代理者のご出席をお願いしたいと思います。

4月18日金曜日でございますが、また後ほどになります。その時点の職務代理者の方でご出席をお願いしたいと思います。

4月18日金曜日には、教育委員会の第4回定例会ということで、16時から行う予定でございます。その後、教育部恒例の職員共々、歓送迎会という形で取り行いたいと思いますので、併せてご予約をお願いしたいと思います。

行事、予定については、以上でございます。

はい。その他はよろしいですかね。

はい。

はい。教育総務課長。

それでは、別の紙の資料をお配りしております。カラー刷りのもので、田原市組織機構図令和7年4月1日現在というものと、白黒のもので、令和7年4月1日付け異動の配置図というものでございます。

皆さん、お手元でございますでしょうか。はい。ありがとうございます。

それでは、先日、令和7年4月1日付け人事異動内示がございましたので、ご報告をさせていただきます。

まず、カラー刷りの資料を御覧ください。これは、市全体の組織機構図になります。これは、3月21日に議員懇談会で出した資料と同じものになりますけれども、この見方としては、市長、副市長ございますが、その隣の縦列が部長級の職員の名前が記載されています。その次が、その右側の次長級の名前、その次が、課名と書いてありますが、課長級の名前が書いてあります。その隣の縦列のほうの主幹の配置という形になっております。

この中で、丸印の方につきましては、昇任をした職員という形で、ゴシック体太字の青字の方につきましては、異動をした職員ということで、異動をした上で丸印が付いていれば昇任というような見方にな

教育長
教育総務課長
教育長
教育総務課長

ります。

1 ページ目だと、赤枠のところがありますけれど、赤枠のところは組織変更があった課になっております。

2 ページ目を御覧ください。2 ページ目のほうが、教育委員会関連のもので、2 ページ目の一番下のほうですけれども、教育部関連になっております。

教育部のほうは、増田教育部長さんが退職をされまして、新たに山田生涯学習課長さんが昇任で教育部長さんになられるということでございます。

その次、隣の次長級のところがありますけれども、是住図書館長さんが次長に昇任をされて、教育部次長兼図書館長ということの配置となります。

生涯学習課につきましては、生涯学習課主幹の小久保高さんが生涯学習課長に昇任。その隣に、主幹の列のところですが、議事課から朽名武彦さんが生涯学習課主幹として昇任の上、異動となっております。こちらが教育部関連を含めた市全体の組織、機構図になっております。

もうひとつ、この配置図のほうを御覧ください。配置図のほうは、教育部の部分の抜粋したのですが、教育部の関連として、4月1日付けの異動で係を含めた配置を付けさせていただきました。

組織の中として、変わった点を抜粋してお話をさせていただきますが、2 ページ目のほうを御覧いただきますと、スポーツ課のところになります。

スポーツ課にアジア大会係という係が新設されます。こちらは、アジアサーフィン選手権大会の支援や、アジアパラ大会に向けた連携事業等の実施及び検討を行うことということで、係が新設されております。

また、このスポーツ課のところの下に派遣と書いてある職員がおりますけれども、こちらは引き続き公益財団法人愛知・名古屋アジア・アジアパラ競技大会組織委員会の派遣ということになっております。

現在、1名派遣のところ令和7年度は2名派遣で、これはいずれもスポーツ課付けということになっております。

こちら簡単に説明をさせていただきますが、この内容はあくまで人事異動内示ということになりますので、また4月1日、今度の臨時会のときに、配置のほうを出させていただきます。

現時点では内示ということで、委員さん限りに留めていただければと思います。よろしく願いいたします。

ださい。

はい。ありがとうございました。

それでは、ただいまの3月31日から4月1日の日程並びに人事異動

教育長

教育総務課長
教育長

の内示について、何か担当に聞いておきたいことはございますか。よろしいですかね。

そのほか、ございますか。

ございません。

はい。委員さんのほうから何かございますでしょうか。よろしいですかね。

それでは、ないようですので、以上で本日の議事は全て終了いたしました。

ご協力ありがとうございました。

これをもちまして、田原市教育委員会第3回定例会を閉会とさせていただきます。

ありがとうございました。

教育長

閉 会 午後2時50分

教育長

委員

委員